

『慰霊の日』ライトダウン～受け継いだ命、受け継いでいく命～

戦争のこと、エコ(自然保護)のこと。一見、関係ないようなこの2つの問題は、『命』という尊いものを内に秘めていると思います。6月23日の慰霊の日に、ライトダウンを行うことで、沖縄戦の悲劇をみつめなおし、風化させないため命という見方からエコ(自然保護や限りある資源)の事を考えて、取り組むきっかけを宮古島から創っていきたくと実施しました。

そこで、6月23日の慰霊の日は、宮古島市全体が照明を少しおとし、個人や家庭ができることを考えて行動する『特別な日』にしていきたいと思います。

今年の新たな取り組みとしては、家庭の台所などから出る廃油を利用したエコキャンドル作りを、市立小学校の放課後子ども教室にて実施しました。

また、そのエコキャンドルを協力店舗に提供し、小学生と商店街による『慰霊の日』ライトダウンの共同発信を行ないました。



『放課後子ども教室でのエコキャンドル作り』

捨てるはずの材料が新しく生まれ変わること(エコ)を体験できたと思います。

絵の具やクレヨンなどで色づけされたキャンドルは、全部で183個作成されました。キャンドル作成に参加した子どもたちから、『放課後教室のみんなで作ったので、是非、慰霊の日のライトダウンイベントへ使ってほしい』との声がありました。



『子どもたちから市への贈呈式』

子どもたちが、一生懸命作ったキャンドルは、協力店舗へ配布され、6月23日の慰霊の日、夜8時～気持ちの分まで、ライトダウンが実施されました。



みなさん、ライトダウンへのご協力ありがとうございました。